

取扱説明書

Ver. 1.0

型番: GRND-SBSPK008C

2.1ch サウンドバースピーカー



も く じ

	ページ		ページ
安全上の注意	2	使いかた(テレビ)	15
使用上の注意	4	使いかた(USBメモリー)	19
パッケージ内容	4	使いかた(その他)	21
各部の名称	5	Bluetoothについて	22
電源の接続	7	お手入れ	22
使いかた(Bluetooth)	8	故障かなと思ったら	23
使いかた(Bluetooth/パソコン)	11	壁掛けする場合	25
使いかた(外部機器)	13	商品仕様	27

- この度は2.1ch サウンドバースピーカーをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
- この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。特に「安全上の注意」、「電源の接続」は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。お読みになった後はいつでも見ることのできる場所に保管してください。

この商品は日本国外でのアフターサービスは出来ません。

No service is available outside of Japan.

安全上の注意 必ず守ること

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して、誤った使いかたをした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみ発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です。）



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

■絶対に分解したり、改造しない



火災・感電の原因になります。

■火の中に投入したり、加熱しない



破裂による火災・けがの原因になります。

■水につけたり、水をかけない



感電・故障の原因になります。

■ケーブルプラグは根元まで確実に差し込む



差し込みが不完全だと感電・火災の原因になります。

■異常・故障時は直ちに使用を中止する



液漏・発火・炸裂の原因になります。

■雷が鳴り出したら、本体や電源ケーブルに触れない



感電の原因になります。

■本商品や電源プラグとコンセントの接続部に液体やほこりなどが付着しないように清掃する



発熱・発火・やけどの原因になります。

■使用中の異常（以前より熱くなる、本体が変形したなど）発生時は直ちに使用を中止する



直ちに使用を中止し、ゲオお客様サポートセンターにご連絡ください。

■本商品を落下させたり、強い衝撃や圧力を加えない




けがや破損の原因になります。


安全上の注意 必ず守ること

⚠ 注意


- 本商品の上にものを置かない

 けがや破損の原因になります。

- 油煙、湯気、湿度、ほこりの多い場所で使用しない

 火災・感電・故障の原因になります。


- 不安定な場所に置かない

 落ちたり倒れたりして、けがの原因になります。


- 布で覆ったりして通風孔をふさがない

 熱がこもって火災や故障の原因になります。

- 医療機器の近くで使用しない

 電波が医療用電気機器に影響を与えるおそれがあります。


- 心臓ペースメーカーの装着部位から22cm以上離す

 電波の影響で誤動作の原因となるおそれがあります。


- 本商品を長時間使用しないときは電源プラグをコンセントから抜く

 火災・故障の原因になります。

- めれた手で本商品や電源プラグをさわらない

 感電の原因になります。


- 電子レンジ、IH調理器などの加熱調理機、圧力釜などの高圧機器に入れたり、近くに置いたりしない

 火災・感電・けがの原因になります。


- 直射日光が強いところ、炎天下の車内での使用や保管をしない

 破損・発熱の原因になります。


- 本商品を温度の高くなるストーブ・コンロなどの近くに置かない

 液漏・本体の変形の原因、寿命が短くなることがあります。


- 電源プラグを抜くときはケーブルを持たずに必ずプラグを持って引き抜く

 ケーブルを持って抜くと断線や故障の原因になります。


- お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜く

 火災・感電・けがの原因になります。

- 本商品にキャッシュカードなどの磁気カードを近づけない

 本商品に内蔵された磁石の影響により、カード情報が損なわれる可能性があります。

- 幼児の手の届くところでは使わない

 感電やけがの原因となります。

使用上の注意

- 本商品にテレビやスマートフォン、外部機器を接続する際は、必ず接続機器の注意事項に従ってください。
- 本商品のプラグが曲がっていたり、本商品の差込口の保持力が極端に弱い状態で使用しないでください。
- 本商品の使用に関して、お使いの機器のメモリー内容が消去されても保証は一切いたしません。あらかじめご了承ください。
- 補聴器、ペースメーカー、その他の医療用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器に影響を与えるおそれがあります。誤動作による故障や事故の原因になりますので、本商品を近くでは使用しないでください。
- 交通機関や公共の場所では音量に注意し、周りの方の迷惑にならないようにしてください。
- 本商品の使用中に気分が悪くなった場合は、すぐに使用を中止してください。
- 本書に記載されている以外でのご使用にて損害が発生した場合は、弊社は一切の責任を負いません。
- 本商品は国内専用です。海外では国によって電波使用制限があるため、本商品を使用した場合、罰せられることがあります。
- 本商品の電源プラグやオーディオ接続プラグに液体や細かいゴミが付着した状態で使用しないでください。プラグがショートして発熱・発煙するおそれがあります。

パッケージ内容



① サウンドバースピーカー本体 × 1



② 電源ケーブル × 1



③ オーディオケーブル × 1



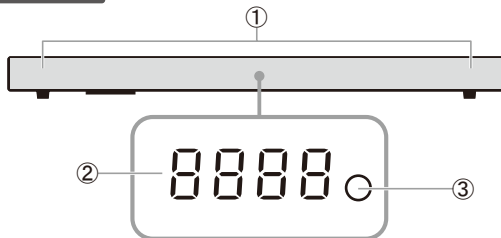
④ リモコン × 1

⑤ 動作確認用電池（単4 × 2）

⑥ 取扱説明書兼保証書（本書） × 1

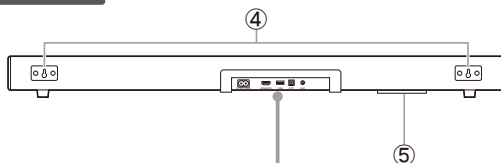
各部の名称

本体前面



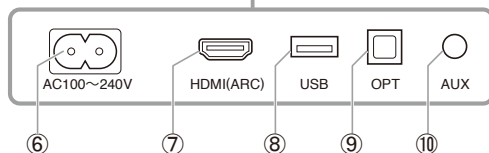
- ① フルレンジスピーカー
- ② LEDディスプレイ
- ③ リモコン受光部

本体背面

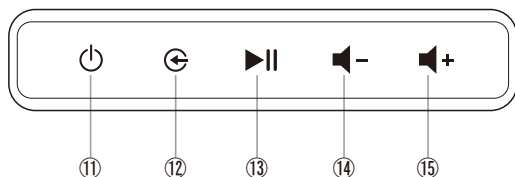


- ④ ネジ掛け穴
- ⑤ サブウーファー
- ⑥ 電源端子
- ⑦ HDMI(ARC)端子
- ⑧ USB端子
- ⑨ OPT(光デジタル)端子
- ⑩ AUX(外部入力)端子

本体背面端子部



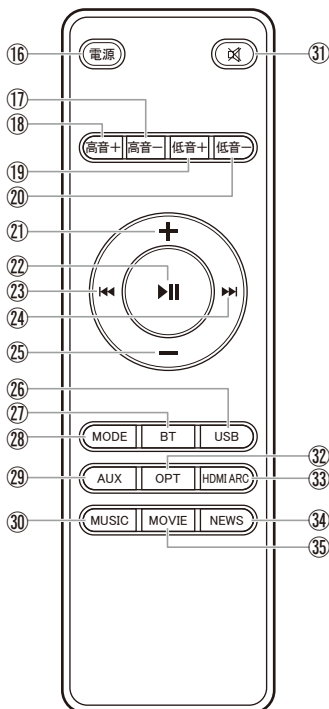
本体上面



- ⑪ 電源ボタン
- ⑫ MODEボタン
- ⑬ 再生/一時停止ボタン
- ⑭ 音量-/曲戻しボタン
- ⑮ 音量+/曲送りボタン

各部の名称

リモコン

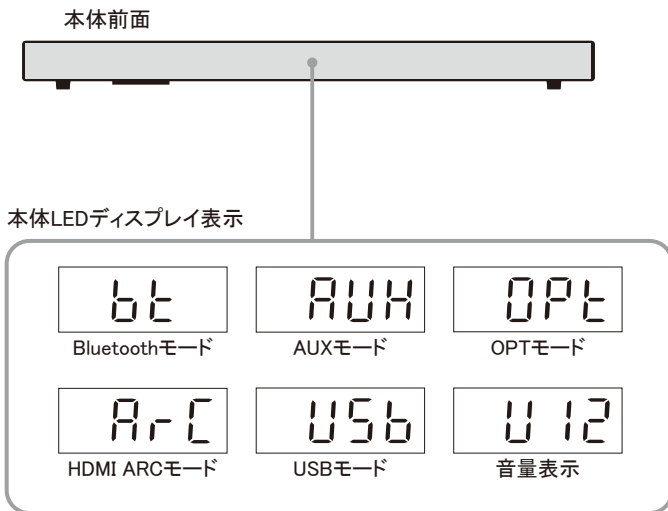
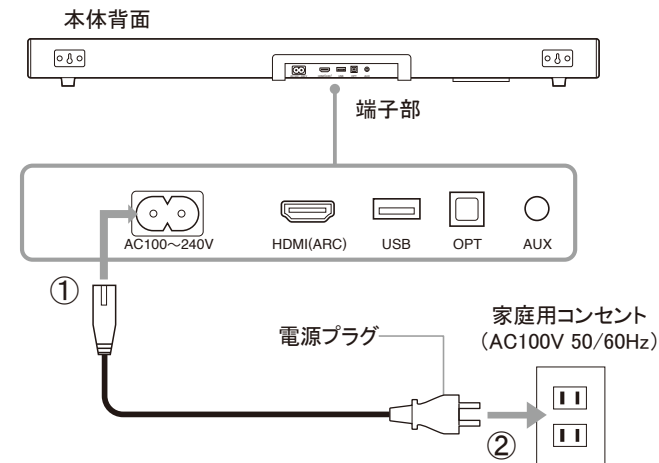


- ① 電源ボタン：電源のオン/オフを行います。
※ “パワーオン”/“パワーオフ”とアナウンスが流れます。
- ② 高音-ボタン：高音域を弱めます。
- ③ 高音+ボタン：高音域を強調します。
- ④ 低音+ボタン：低音域を強調します。
- ⑤ 低音-ボタン：低音域を弱めます。
- ⑥ 音量+ボタン：音量を大きくします。
- ⑦ 再生/一時停止ボタン：音声を再生/一時停止します。
- ⑧ 曲戻しボタン：前の曲を再生します。
- ⑨ 曲送りボタン：次の曲を再生します。
- ⑩ 音量-ボタン：音量を小さくします。
- ⑪ USB ボタン：USB モードを選択します。
※ USB メモリーが接続されていないと、本体の LED ディスプレイに “USB” (USB モード) が表示されません。
※ USB モードで再生中に長押しすると、リピート再生を行うことができます。長押しすることにより次のように切り替わります。
【1曲再生 (ONE) / 全曲再生 (ALL) / リピートオフ (OFF)】
- ⑫ BT ボタン：Bluetooth モードを選択します。
※ 長押しすると、Bluetooth でペアリングしている機器の接続・切断を行えます。ペアリングした機器が複数ある場合は、直前に接続した機器と接続します。
- ⑬ MODE ボタン：BT (Bluetooth) / AUX / OPT / HDMI / USB 各モードの入力切替を行います。
※ USB モードは、USB メモリーが接続されていないと、本体の LED ディスプレイに “USB” (USB モード) が表示されません。
- ⑭ AUX ボタン：AUX モードを選択します。
- ⑮ MUSIC ボタン：音楽の音質エフェクトを選択します。
- ⑯ 消音ボタン：音声を消します。
- ⑰ OPT ボタン：OPT モードを選択します。
- ⑱ HDMI ARC ボタン：HDMI モードを選択します。
- ⑲ NEWS ボタン：会話の音質エフェクトを選択します。
- ⑳ MOVIE ボタン：映画の音質エフェクトを選択します。

※ 接続する機器によって機能しないボタンがある場合があります。

電源の接続

- ① 本体背面の電源端子に、付属の電源ケーブルの端子プラグを接続します。
- ② 付属の電源ケーブルの電源プラグを家庭用コンセントに接続します。



使いかた (Bluetooth)

ペアリング

- ① 本体上面の電源ボタンを約2秒長押し、またはリモコンの電源ボタンを短押しします。
- ② “パワーオン”とアナウンスが流れ、LEDディスプレイが点灯します。
※前回使用されたモードがLEDディスプレイに表示されます。
- ③ 本体上面のMODEボタンまたはリモコンのMODEボタンでBluetoothモードにすると、LEDディスプレイに“bt”(Bluetoothモード)が点滅します。
- ④ Bluetooth機器(接続する機器)にてペアリングのための操作を行います。Bluetooth機器側で本商品を検出した場合、“SBSPK008C”名称で表示されます。

iPhoneとの接続例 ※機種やOSのバージョンによって設定方法は異なります。

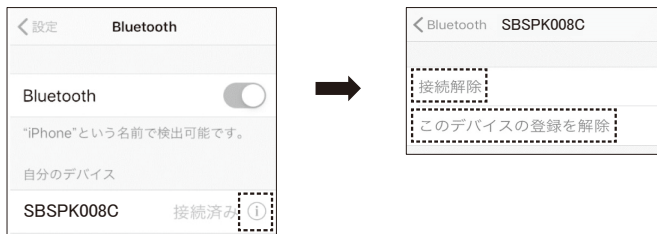


- ⑤ iPhoneの画面にある「設定」を選択します。
- ⑥ 「設定」内の「Bluetooth」をタッチします。



- ⑦ 「Bluetooth」の「オフ」の部分タッチまたはスライドさせて「オン」にします。
 - ⑧ 検出されたBluetooth機器がリストに表示されますので、その中から“SBSPK008C”を選択します。
- ⑨ ペアリングが完了すると効果音が鳴ります。2回目以降のご使用では、電源を入れると最後に接続したBluetoothデバイスと自動的にペアリングされます。電源を切るとBluetooth接続は解除されます。

使いかた (Bluetooth)



- ⑩ Bluetooth接続を解除したり、登録を削除したい場合は、デバイス名の右をタップして次の画面でいずれかを選択します。Bluetooth接続を解除すると効果音が鳴ります。

Androidスマートフォンとの接続例

※機種種やOSのバージョンによって設定方法は異なります。

- ⑪ スマートフォンの画面にある「設定」を選択します。
- ⑫ 「設定」内の「機器接続」を選択します。
- ⑬ 「機器接続」内の「新しい機器とペア設定する」を選択します。
- ⑭ 検出されたBluetooth機器がリストに表示されますので、その中から“SBSPK008C”を選択します。
- ⑮ ペアリングが完了すると効果音が鳴ります。2回目以降のご使用では、電源を入ると最後に接続したBluetoothデバイスと自動的にペアリングされます。
電源を切るとBluetooth接続は解除されます。

※ Android端末でデバイス一覧に“SBSPK008C”がない場合は、スキャンをタップしてください。

※ 接続がうまくいかなかった場合は、スマートフォンのBluetooth接続を解除して、最初からやり直してください。Bluetooth接続を解除すると効果音が鳴ります。

再生/一時停止

音楽再生中に本体上面またはリモコンの再生/一時停止ボタンを押すと、一時停止します。
一時停止中に本体上面またはリモコンの再生/一時停止ボタンを押すと、一時停止が解除され、再生を開始します。

使いかた (Bluetooth)

音量調整

本体上面の音量＋/曲送りボタンを長押し、またはリモコンの音量＋ボタンを短押しすると、音量が大きくなります。

※ 最大音量時、LEDディスプレイには“U32”と表示されます。

※ 音量の上げすぎに十分ご注意ください。

本体上面の音量－/曲戻しボタンを長押し、またはリモコンの音量－ボタンを短押しすると、音量が小さくなります。

曲送り/曲戻し

音楽再生中に本体上面の音量＋/曲送りボタンまたはリモコンの曲送りボタンを短押しすると、曲送りします。

音楽再生中に本体上面の音量－/曲戻しボタンまたはリモコンの曲戻しボタンを短押しすると、曲戻しします。

※ 使用するデバイスのOSやアプリによっては、曲戻しすると1つ前の曲ではなく、曲の頭に戻る場合があります。

※ 使用するデバイスのOSやアプリによっては、機能しない場合があります。

※ 再生中の曲を早送り/早戻しする機能はありません。

入力切替

本体上面のMODEボタンもしくはリモコンのMODEボタンで各モードの入力切替を行います。

※ 電源を入れた際は、前回使用されたモードが選択されます。

※ USBモードは、USBメモリーが接続されていないと、LEDディスプレイに“USB” (USBモード) が表示されません。

自動電源オフ機能

何も操作せず、音声が出ていない状態で約10分ほど経過すると、自動的に電源オフになります。

電源を切る

本体上面の電源ボタンを短押し、またはリモコンの電源ボタンを短押しします。

“パワーオフ”とアナウンスが流れ、LEDディスプレイが消灯して電源オフになります。

使いかた (Bluetooth/パソコン)

パソコンで使う

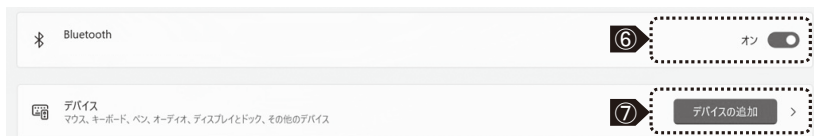
Windows 11の場合

- ① 本体上面の電源ボタンを約2秒長押し、またはリモコンの電源ボタンを短押しします。
- ② “パワーオン”とアナウンスが流れ、LEDディスプレイが点灯します。
※前回使用されたモードがLEDディスプレイに表示されます。
- ③ 本体上面のMODEボタンまたはリモコンのMODEボタンでBluetoothモードにすると、LEDディスプレイに”bt” (Bluetoothモード) が点滅します。

- ④ パソコン画面のスタートメニューを右クリックし、「設定」をクリックします。
- ⑤ パソコン画面の左側のメニューより「Bluetoothとデバイス」をクリックします。



- ⑥ 「Bluetooth」項目の設定を「オン」にしてBluetoothを有効化します。



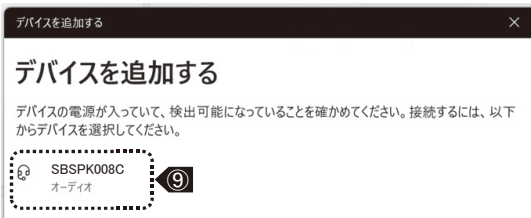
- ⑦ 「デバイスの追加」をクリックします。

- ⑧ 「デバイスを追加する」の画面が表示されるので、「Bluetooth」をクリックします。

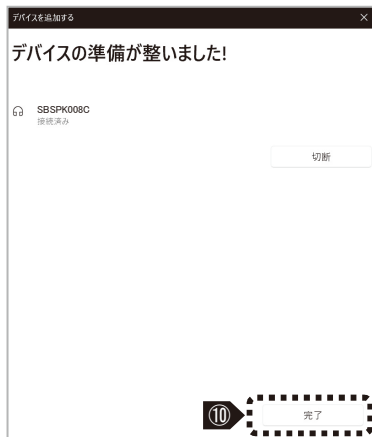


使いかた (Bluetooth/パソコン)

- ⑨ “SBSPK008C”をクリック
します。

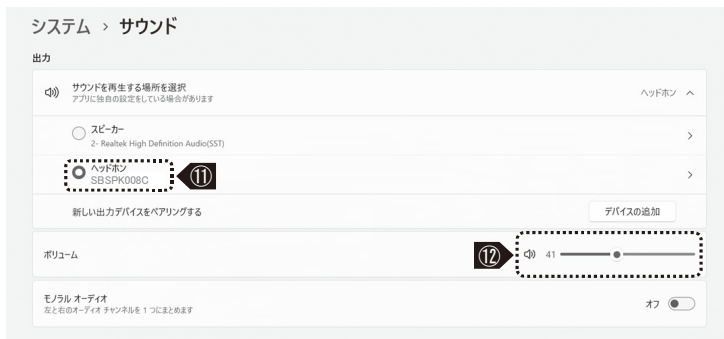


- ⑩ 接続が完了すると、パソコンに右の画面が表示
されますので、「完了」をクリックしてください。



- ※ 10分以内に接続を完了してください。
- ※ 10分以上経過してしまった場合や接続がうまく
いかなかった場合は、最初からやり直してくだ
さい。
- ※ “SBSPK008C”の下に「接続されているマイク、
オーディオ」と表示されていることを確認してく
ださい。「接続されているオーディオ」の場合は
マイクが認識されていませんので、接続をやり
直してください。

- ⑪ 音が出ない場合は、パソコンのスピーカーの設定を調整します。
パソコンのスタートメニューから「設定」→「システム」→「サウンド」をクリックします。
出力で“SBSPK008C”を選択します。
- ⑫ 必要に応じてボリュームをスライドさせて調整します。
※ パソコンによっては接続時の初期音量が大きくなる場合がありますのでご注意ください。

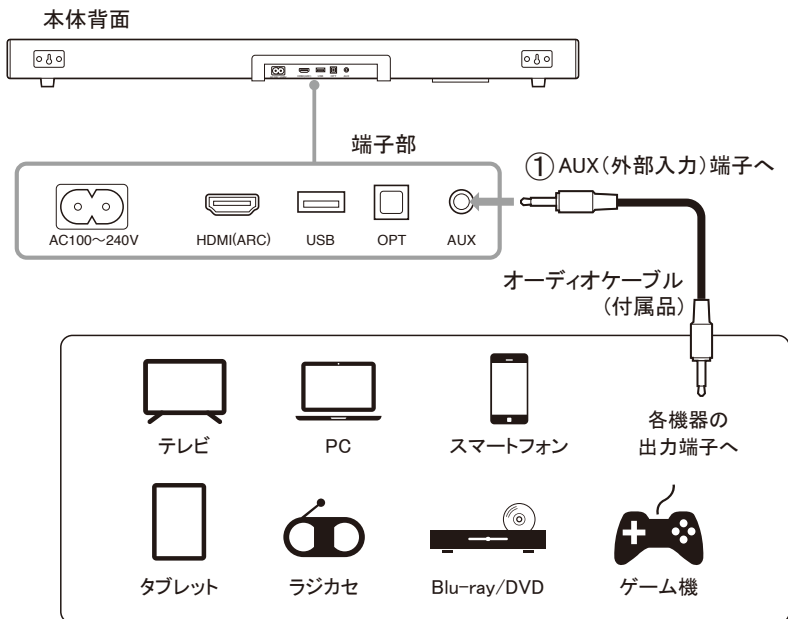


使いかた(外部機器)

AUXモード(外部機器との接続)

本体背面の端子部にあるAUX(外部入力)端子へ付属のオーディオケーブルを接続して使用することができます。

3.5mmポートのあるテレビ、PC、スマートフォン、ゲーム機などと接続します。



- ① 本体を電源オフにして、付属のオーディオケーブルを本体背面の端子部にあるAUX(外部入力)端子と外部機器のイヤホン端子や音声入力端子へ接続します。
- ② 本体上面の電源ボタンを約2秒長押し、またはリモコンの電源ボタンを短押しします。
- ③ “パワーオン”とアナウンスが流れ、LEDディスプレイが点灯します。
※前回使用されたモードがLEDディスプレイに表示されます。
- ④ 本体上面のMODEボタンまたはリモコンのMODEボタンでAUXモードにすると、LEDディスプレイに“AUX”(AUXモード)が点灯します。

※ 音量調整、各再生操作は接続した各機器で行ってください。

※ スマートフォンの機種によっては使用できない場合があります。

※ すべての機器で動作保証するものではありません。

使いかた(外部機器)

消音

再生中にリモコンの消音ボタンを押すと消音になります。
再度、同ボタンを押すと、音声が再開されます。

入力切替

本体上面のMODEボタンもしくはリモコンのMODEボタンで各モードの入力切替を行います。
※ 電源を入れた際は、前回使用されたモードが選択されます。
※ USBモードは、USBメモリーが接続されていないと、LEDディスプレイに“USB”(USBモード)が表示されません。

自動電源オフ機能

何も操作せず、音声が出していない状態で約10分ほど経過すると、自動的に電源オフになります。
※外部機器に接続しているときは電源オフにならない場合があります。

電源を切る

本体上面の電源ボタンを短押し、またはリモコンの電源ボタンを短押しします。
“パワーオフ”とアナウンスが流れ、LEDディスプレイが消灯して電源オフになります。

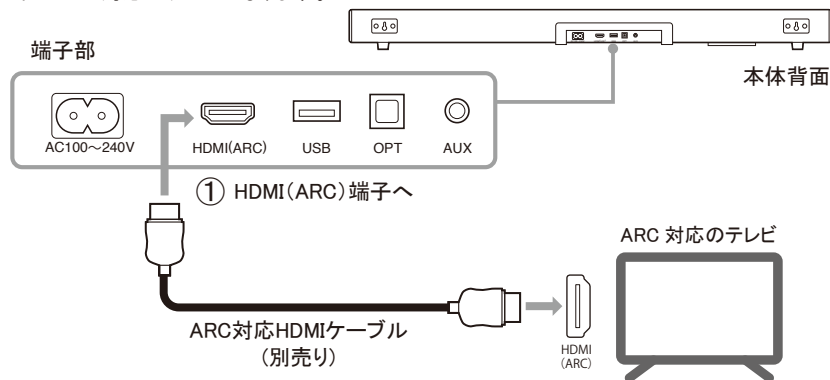
使いかた(テレビ)

HDMI ARC モード(テレビとの接続)

ARC(オーディオ・リターン・チャンネル)とは、HDMIケーブル1本でテレビの音声をスピーカーに送れる機能です。

本体背面の端子部にあるHDMI(ARC)端子へ別売りのARC対応HDMIケーブルを接続して使用することができます。

テレビがARCに対応しているかを確認するには、テレビのHDMI端子付近に“ARC”と記載されていればARC対応のテレビになります。



- ① 本体を電源オフにして、別売りのARC対応HDMIケーブルを本体背面の端子部にあるHDMI(ARC)端子とテレビのARC対応 HDMI端子へ接続します。
 - ② 本体上面の電源ボタンを約2秒長押し、またはリモコンの電源ボタンを短押しします。
 - ③ “パワーオン”とアナウンスが流れ、LEDディスプレイが点灯します。
※前回使用されたモードがLEDディスプレイに表示されます。
 - ④ 本体上面のMODEボタンまたはリモコンのMODEボタンでHDMIモードにすると、LEDディスプレイに“ArC”(HDMI ARCモード)が点灯します。
 - ⑤ 音量調整、各種操作は接続されているテレビ側で行ってください。
- ※ 本商品のHDMI接続は、ARC対応のHDMIケーブルでARC対応のテレビにつなぐと、デジタル音声を楽しむことができます。ARC対応でないと動作しない場合があります。
- ※ テレビのスピーカー出力設定を有効にして、デジタル音声出力をPCMに設定してください。詳細についてはテレビの取扱説明書をご覧ください。また、テレビメーカーの独自技術により、HDMI連動がうまくいかない場合もあります。
- ※ テレビの音量を変更すると本商品の音量も連動して変更されます。また、テレビの電源を切ると本商品も連動して電源オフになります。ご使用のテレビによって本商品と連動しない場合があります。
- ※ HDMI接続の電源連動について、テレビの機種によっては対応していない場合があります。
- ※ すべてのテレビで動作保証するものではありません。

使いかた(テレビ)

消音

再生中にリモコンの消音ボタンを押すと消音になります。
再度、同ボタンを押すと、音声が開かれます。

入力切替

本体上面のMODEボタンもしくはリモコンのMODEボタンで各モードの入力切替を行います。
※ 電源を入れた際は、前回使用されたモードが選択されます。
※ USBモードは、USBメモリーが接続されていないと、LEDディスプレイに“USB” (USBモード) が表示されません。

自動電源オフ機能

何も操作せず、音声がでない状態で約10分ほど経過すると、自動的に電源オフになります。
※ 外部機器に接続しているときは電源オフにならない場合があります。

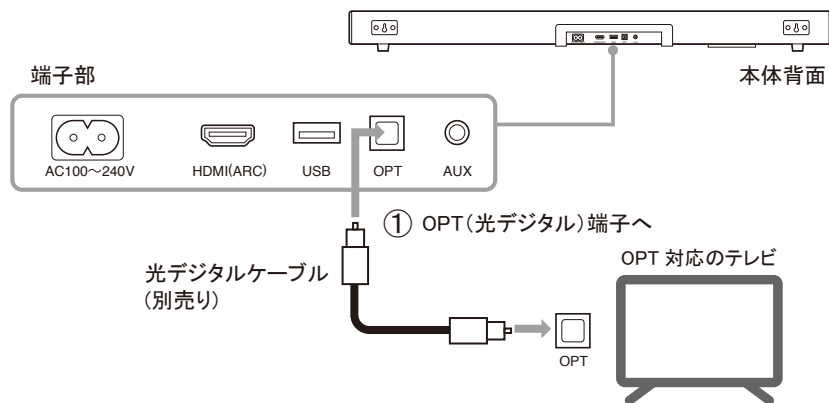
電源を切る

本体上面の電源ボタンを短押し、またはリモコンの電源ボタンを短押しします。
“パワーオフ”とアナウンスが流れ、LEDディスプレイが消灯して電源オフになります。

使いかた(テレビ)

OPTモード(テレビとの接続)

本体背面の端子部にあるOPT(光デジタル)端子へ別売りの光デジタルケーブルを接続して使用することができます。



- ① 本体を電源オフにして、別売りの光デジタルケーブルを本体背面の端子部にあるOPT(光デジタル)端子とテレビのOPT(光デジタル)端子へ接続します。
- ② 本体上面の電源ボタンを約2秒長押し、またはリモコンの電源ボタンを短押しします。
- ③ “パワーオン”とアナウンスが流れ、LEDディスプレイが点灯します。
※前回使用されたモードがLEDディスプレイに表示されます。
- ④ 本体上面のMODEボタンまたはリモコンのMODEボタンでOPTモードにすると、LEDディスプレイに“Opt”(OPTモード)が点灯します。
- ⑤ 音量調整は本商品にて行ってください。

※ 光デジタルケーブルの端子先端にキャップが付いている場合は取り外してからご使用ください。

※ 光デジタルケーブルのプラグと、テレビと本商品の端子の形状を確認し、プラグを正しい向きで奥までしっかり差し込んでください。間違った向きで無理に差し込むと、端子やプラグが破損することがあります。

※ テレビのスピーカー出力設定を有効にして、デジタル音声出力をPCMに設定してください。詳細についてはテレビの取扱説明書をご覧ください。

※ すべてのテレビで動作保証するものではありません。

使いかた(テレビ)

音量調整

本体上面の音量+/曲送りボタンを長押し、またはリモコンの音量+ボタンを短押しすると、音量が大きくなります。

※ 最大音量時、LEDディスプレイには“U32”と表示されます。

※ 音量の上げすぎに十分ご注意ください。

本体上面の音量-/曲戻しボタンを長押し、またはリモコンの音量-ボタンを短押しすると、音量が小さくなります。

消音

再生中にリモコンの消音ボタンを押すと消音になります。

再度、同ボタンを押すと、音声が開かれます。

入力切替

本体上面のMODEボタンもしくはリモコンのMODEボタンで各モードの入力切替を行います。

※ 電源を入れた際は、前回使用されたモードが選択されます。

※ USBモードは、USBメモリーが接続されていないと、LEDディスプレイに“USB” (USBモード)が表示されません。

自動電源オフ機能

何も操作せず、音声が出ていない状態で約10分ほど経過すると、自動的に電源オフになります。

※ 外部機器に接続しているときは電源オフにならない場合があります。

電源を切る

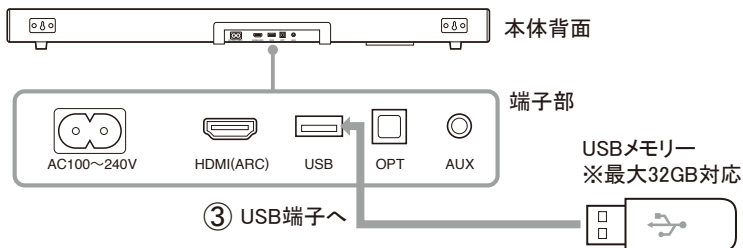
本体上面の電源ボタンを短押し、またはリモコンの電源ボタンを短押しします。

“パワーオフ”とアナウンスが流れ、LEDディスプレイが消灯して電源オフになります。

使いかた(USBメモリー)

USBモード(USBメモリーとの接続)

本体背面にあるUSB端子へ音楽データ入りUSBメモリーを接続して使用することができます。再生可能ファイルは、MP3/WMA/WAV形式になります。



- ① 本体上面の電源ボタンを約2秒長押し、またはリモコンの電源ボタンを短押しします。
- ② “パワーオン”とアナウンスが流れ、LEDディスプレイが点灯します。
※前回使用されたモードがLEDディスプレイに表示されます。
- ③ 本体背面にあるUSB端子へUSBメモリーを接続します。
- ④ USBメモリーのデータを読み込み後、自動的に音楽再生を開始します。

※ 再生中または動作終了直後にUSBメモリーを取り出さないでください。データが破損するおそれがあります。

※ デジタル著作権管理(DRM)されたファイルは再生できません。

DRMとはデジタルデータとして表現されたコンテンツの著作権を保護し、その利用や複製を制御・制限する技術の総称をいいます。音声・映像ファイルにかけられる複製の制限技術などが有名ですが、広義には画像ファイルの電子透かしなどもDRMに含まれます。

※ 音楽再生は、MP3/WMA/WAV形式のファイルをパソコンから転送時に、専用ソフトを使って独自の暗号化(著作権保護)を施すもので使用されるファイルを入れたUSBメモリーは本商品では再生できません。

※ MP3/WMA/WAV形式のファイルは、記録された順序で再生できないことがあります。また、記録状況により音飛びが発生したり、再生できないことがあります。

※ USBメモリーを認識できない場合は、他のUSBメモリーにコピーしてご確認ください。

再生/一時停止

音楽再生中に本体上面またはリモコンの再生/一時停止ボタンを押すと、一時停止します。一時停止中に本体上面またはリモコンの再生/一時停止ボタンを押すと、一時停止が解除され、再生を開始します。

使いかた(USBメモリー)

音量調整

本体上面の音量+/曲送りボタンを長押し、またはリモコンの音量+ボタンを短押しすると、音量が大きくなります。

※ 最大音量時、LEDディスプレイには“U32”と表示されます。

※ 音量の上げすぎに十分ご注意ください。

本体上面の音量-/曲戻しボタンを長押し、またはリモコンの音量-ボタンを短押しすると、音量が小さくなります。

曲送り/曲戻し

音楽再生中に本体上面の音量+/曲送りボタンまたはリモコンの曲送りボタンを短押しすると、曲送ります。

音楽再生中に本体上面の音量-/曲戻しボタンまたはリモコンの曲戻しボタンを短押しすると、曲戻します。

リピート

再生中にリモコンのUSBボタンを長押しすると、リピート再生を行うことができます。

長押しするごとに次のように切り替わります。

【1曲再生(ONE)/全曲再生(ALL)/リピートオフ(OFF)】

入力切替

本体上面のMODEボタンもしくはリモコンのMODEボタンで各モードの入力切替を行います。

※ 電源を入れた際は、前回使用されたモードが選択されます。

※ USBモードは、USBメモリーが接続されていないと、LEDディスプレイに“USB” (USBモード)が表示されません。

自動電源オフ機能

何も操作せず、音声が出ていない状態で約10分ほど経過すると、自動的に電源オフになります。

※ 外部機器に接続しているときは電源オフにならない場合があります。

電源を切る

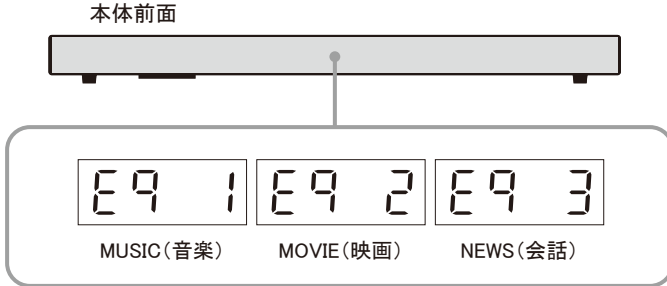
本体上面の電源ボタンを短押し、またはリモコンの電源ボタンを短押しします。

“パワーオフ”とアナウンスが流れ、LEDディスプレイが消灯して電源オフになります。

使いかた(その他)

イコライザーの設定

リモコンのMUSICボタン/MOVIEボタン/NEWSボタンを押して、音質エフェクトを選択できます。選択した音質エフェクトは、本体前面のLEDディスプレイに“Eq O”(イコライザー設定1/2/3)と表示されます。

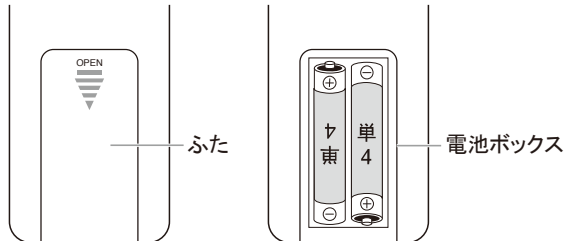


音質の調整

リモコンの高音・低音(+/-)ボタンを押すことにより、高音と低音の量を増減することができます。

リモコンの電池交換

- ① リモコンの裏側にある電池ボックスのふたを開けます。
- ② 電池の+と-の向きを確認して、電池ボックスに電池を入れます。
その後ふたを戻してください。



Bluetoothについて

- Bluetooth通信の通信範囲は約10mですが、障害物(人体、金属、壁など)や電波状態によって接続有効範囲は変動します。
- Bluetooth機器と無線LAN(IEEE802.11b/g)は同一周波数帯(2.4GHz)を使用するため、無線LANを搭載した機器の近辺で使用すると電波干渉が発生し、接続速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合は、無線LAN機器の電源を切るか、10m以上離れた場所でご使用ください。
- Bluetooth対応商品の音楽・音声機器とマウス・キーボードなどを同時に接続した場合、音楽や音声が途切れることがあります。
- 本商品はBluetooth対応のすべての機器との接続動作を保証するものではありません。
- 本商品は電波法に基づく技術基準に適合していますので、無線局の免許は不要です。ただし、本商品を分解・改造すると法律で罰せられることがあります。
- 無線技術の特性により送信側での音声・音楽再生に比べて本商品での再生が遅れるため動画視聴時やゲームでのご使用の場合、映像と音声がずれる場合があります。
- 接続する機器によって、Bluetooth接続ができるまで時間がかかることがあります。

お手入れ

- お手入れする前に、必ず本商品の電源をオフにして、コンセントから電源ケーブルを抜いてください。
- お手入れには、乾いた布か、水に浸した柔らかい布をよく絞りお使いください。
- シンナー、ベンジンなどの溶剤・洗剤を使用しないでください。
- 化学ぞうきんを使うときは、その注意書きに従ってください。
- 汚れがひどい場合は、中性洗剤や石けん水に浸した柔らかい布をよく絞って汚れをふき取り、柔らかい布でふき取ってください。
- 本商品の各端子や電源ケーブルのプラグにほこりなどが溜まらないように定期的にお手入れしてください。ほこりが溜まるとショートして発煙、発熱の原因になるおそれがあります。

故障かなと思ったら

電源が入らない

- 電源ケーブルがコンセントにしっかり差し込まれているか確認してください。
- 電源ケーブルをコンセントから抜いて、数分後に電源ケーブルをコンセントに挿し、電源を入れてください。
- 本商品は自動電源オフ機能を採用しております。何も操作せず、音声が出ていない状態で約10分ほど経過すると、自動的に電源オフになります。

音が出ない(USB/AUX/OPT/HDMI接続時)

- 本商品または接続機器の音量を上げてください。
- 消音になっていないか確認してください。
- 各端子・プラグが正しく接続されているか確認してください。
- 使用したいモードを正しく選択しているか確認してください。
- HDMI(ARC)/OPT接続の場合、テレビの出力設定によって変更が必要な場合があります。デジタル音声出力設定を変更してください。デジタル音声出力設定については、テレビの取扱説明書をご覧ください。
- HDMI(ARC)/OPT接続でBS・有料視聴・DVD等の音声がでない場合、著作権保護された信号が考えられます。著作権保護されたファイルは非対応です。AUX接続でご使用ください。

勝手に電源が切れたり入ったりする(HDMI接続時)

- テレビのHDMI連動機能の設定をオフにしてください。HDMI連動機能の設定については、テレビの取扱説明書をご覧ください。

Bluetooth機器とペアリング(登録)できない

- 本商品と接続している機器の電源を両方も切り、機器情報(デバイス登録)を削除してから再度Bluetooth接続やペアリングを行ってください。
- 接続するBluetooth機器側の機能が使用可能な状態であることを確認してください。
- 接続するBluetooth機器側が本商品のプロファイルに対応しているか確認してください。
- 接続するBluetooth機器と本商品をなるべく近づけて登録してください。
- 時間切れによりペアリングモードが終了している場合があります。再度設定し直してください。
- 近くに別のBluetooth機器があるときは、別のBluetooth機器の電源を切るか、その機器から離れた場所で登録してください。
- Bluetooth機器の電源を切り、再度電源を入れ直してお試しください。

故障かなと思ったら

Bluetoothの音が途切れる、または音質が劣る

- 接続するBluetooth機器と本商品を近づけて使用してください。
- 接続するBluetooth機器と本商品の間にある障害物を避けてご使用ください。
- 他の無線機器、電子レンジなどの電波干渉機器が近くにある場合があります。干渉の元と思われる機器から離して使用してください。

Bluetoothの音楽が再生できない

- 接続するBluetooth機器と本商品の電源を入れてください。
- 再度ペアリング(登録)をしてください。
- Bluetooth機器と本商品の音量を大きくして調節してください。Bluetooth機器側で音楽再生ができるかご確認ください。
- ファイルやWebサイトによってBluetoothでの再生をサポートしていない場合があります。
- スマートフォンの仕様により、ダウンロードした動画等の音声はBluetoothでは聴取できない場合があります。

USBメモリーの選曲ができない

- USBメモリーによっては設定された再生順序を変更できない場合があります。

リモコンが動かない

- 電池が入っているか確認してください。
- 新しい電池に交換してみてください。
- リモコンを本体受光部に近づけて操作してみてください。

壁掛けする場合

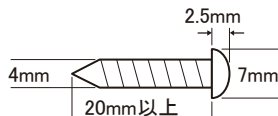
⚠ 注意 壁掛けする場合

誤った設置は人身事故や物的破損を招く可能性があります。

— 必ず工事専門業者にご依頼ください —

- 取り付ける前に、壁の材質や強度をお確かめください。
薄い石膏ボードや白壁の場合には、スピーカーを支えることができず落下するおそれがあります。
- 取り付けの不備などによる事故、損傷につきましては当社は一切責任を負いません。
- お子様などがスピーカー部にぶらさがったりすると、スピーカー部がはずれてけがをす
るおそれがあります。

① 下図のような市販のネジと、ネジに対応する壁掛け用アンカーを各2本ずつご用意ください。

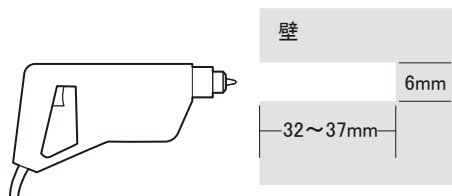


② 設置する壁に左右723mm、ネジ穴(直径6mm)の位置のあたりを付けます。

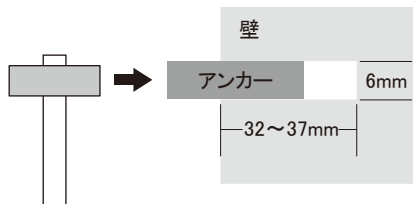


壁掛けする場合

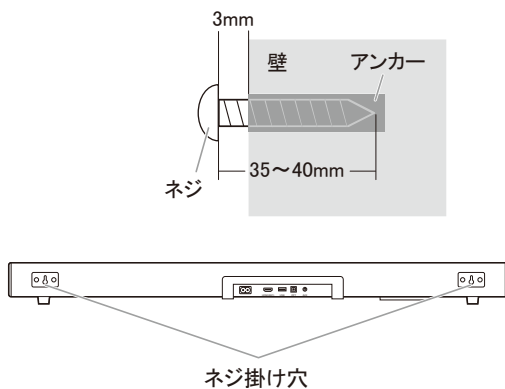
- ③ ドリルを使って、当たりを付けた位置に穴を開けます。



- ④ かなづちで壁掛け用アンカーを、開けた穴へ打ち込みます。




- ⑤ アンカーにネジを取り付け、本商品背面部にあるネジ掛け穴を、壁に取り付けたネジに合わせて差し込み、しっかりと固定してください。



商品仕様

商品向上のため、商品仕様は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

本体仕様	サイズ	約 横850×奥行99×高71mm
	質量	約2670g
	使用温度範囲/湿度範囲	5～40℃/35～80%(ただし結露なきこと)
スピーカー部	スピーカー出力	フルレンジスピーカー：30W×2
		サブウーファー：50W×1
	スピーカーサイズ	フルレンジスピーカー：45×80mm×2
		サブウーファー：Φ78mm×1
	インピーダンス	フルレンジスピーカー：6Ω
サブウーファー：4Ω		
再生周波数帯域	20Hz～20kHz	
通信仕様	Bluetooth	Ver.5.4
	対応プロファイル	A2DP/AVRCP/AVDTP/AVCPTP/GAVDP
	対応コーデック	SBC
	使用周波数帯域	2.4GHz帯
	受信距離/送信出力	約10m/Class 2
電源	電源	AC100-240V 50/60Hz
	消費電力	80W
その他	入出力	HDMI(ARC対応)、USB、OPT(光デジタル)、AUX
付属品	電源ケーブル	約1.1m
	オーディオケーブル	約1.1m
	リモコン	動作確認用電池付き
	取扱説明書兼保証書	保証期間6ヶ月

 210-231866 本商品は工事設計認証を受けています。